

第 25 回菅平スキー科学セミナー参加のお礼

仁木國雄

今回はコロナ禍の中で菅平に集まる事ができず、初のリモート開催となりました。香川大石井先生のご厚意によりズーム環境を準備頂き、3月13日午後3時に25名の参加を得てセミナーは始まりました。

まずは学生に寄るエンカレッジ・セミナーで、香川大の卒研生・藤田さん、松本さん、諏訪東京理科大の大学院生・笹川さん、関さん、根岸さん、信州大大学院生・曾根さんの研究報告が有り活発な議論がなされました。

講和、話題提供としては、早稲田大の澤田先生による「溶液中における物質の興味深い物理現象発見とその制御」、(株)nittoh の朝倉さんによる「はやぶさ2小型ロボット MINERVA-II 搭載レンズのお話し」、公立諏訪東京理科大学の橋元先生による「JAPOW への憧れ～カナダ Powder snow を滑って改めて感じたこと～」、元防災科学技術研究所雪氷防災研究センターの阿部さんによる「私たちにとって川とは何か?」、NPO 元気・まちネットの矢口さんと香川大・石井先生による「地域のまちおこし」そして公立小松大の香川先生による「南極観測に関する話と JAPOW に関連して深雪滑走中のスキー板の挙動に関する実験の紹介」と多岐に渡る発表がありました。途中から例年の菅平同様に飲食自由となり活発な議論が行われました。ことに、日本の深雪 (JAPOW) に関しては議論が白熱し、司会の石井先生による制止により9時頃閉会となりました。

最後に、次の幹事をお引き受け頂いた信州大・河村先生の下、来年は菅平に集結し、このセミナーの伝統である夜を徹した白熱した議論が行われる事を願っております。